

地域性を考慮した都市内道路網イメージの分析

岐阜大学大学院 学生員 ○片桐雅之
岐阜大学工学部 正会員 秋山孝正

1. はじめに

これまでに道路網のイメージ評価の問題について、色彩を用いた評価に関する研究が、都市高速道路網（阪神高速道路）あるいは都市内道路網（岐阜市）について報告されている^{1)～3)}。

一般に、都市内の道路は各地域を通過する交通網としての役割を果たしている。その意味から、イメージからみた都市内道路網と沿道地域の関連性について検討する必要がある。

本研究では、岐阜市の地域を対象としてイメージ分析を行った。さらに既存研究を踏まえて地域イメージと道路イメージの関連性を検討する。これらより地域性を考慮した当該都市の道路網のあり方について考察することができる。

2. 地域のイメージ分析

2.1 統計資料による地域分類

岐阜市を分類するには様々な方法があり、最も詳細な分類として49の小学校区がある。その分類で地域の特性を示す統計的資料（人口・宅地面積構成比・農地面積構成比・山林原野面積構成比）等を収集した。ここでは例として宅地面積比に基づいて地域分類をした結果を図-1に示す。本研究では最終的に道路網と地域の関係を検討することが主目的であるから、ある程度の大きさをもつまとまった地域分類を行うことにした。ここで行政上の8つの分類を用いた（図-1：太枠）。この分類でも宅地面積比構成は各地域ごとにほぼ均質になっていることがわかる。以下8分類した地域で研究を進めるものとする。

2.2 色彩評価を用いた分析

既存研究では都市道路網を対象として、階層的で複雑なイメージ構成を「色彩表現」により抽象化することで、比較・評価を行った^{2), 3)}。ここでは地域について同様の方法で、「色彩表現」を用いてイメージの抽出を行った。イメージ調査の項目は、「地域に対応する色彩（20色）」及び「形容詞対（8個）」を用いた

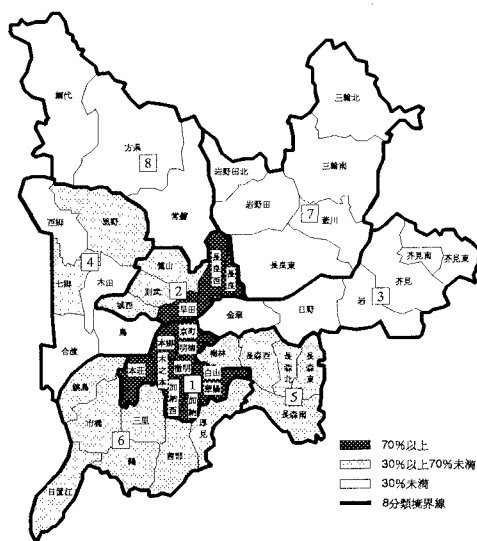


図-1 校区別宅地面積比

地域のSD法(Semantic Differential)』である。また調査対象者は岐阜市在住の37名（男性23名、女性14名）であり、アンケート調査用紙を配布・後日回収する形式とした。

次に、各地域に対して想起された色彩を地域ごとに集計した。各地域で特定色彩に回答が集中したもの（20%以上）は、地域3：「くすんだ黄みの緑」「暗い青緑」、地域4：「くすんだ黄みの緑」、地域7：「暗い青緑」、地域8：「くすんだ黄みの赤」である。

さらに各地域の形容詞対による評価の集計結果から平均プロフィール曲線を描いた。それを図-2に示す。

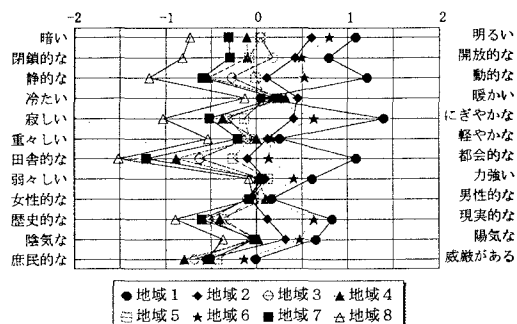


図-2 各地域の平均プロフィール曲線

これより「地域1」と「地域8」のイメージが相反することがわかる。また「地域1」は「都会的な」イメージであるが、中心部から離れるにしたがって「田舎的な」イメージが増加する。

また評価項目については「男性的な-女性的な」の各地域の評価得点の変動が小さかった。

2.3 地域間イメージ構成についての分析

つぎに、地域イメージの相互関連を明確にするため階層的構造を用いた分析を行う。ここでは地域ごとの「色彩構成比」（回答数ベクトル）により複合的な色彩イメージを定量化する。このデータより「クラスター分析」を実行した。この結果を図-3に示す。これより、岐阜市を3つの地域グループに大別できることがわかる。

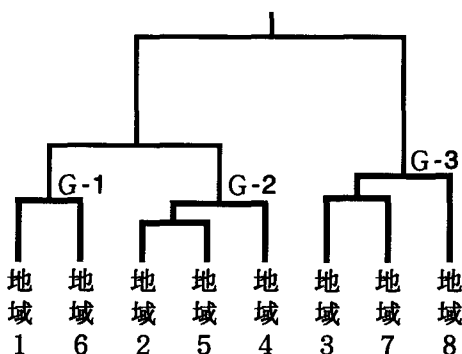


図-3 クラスター分析結果

3. 地域と都市内道路網の関連性

ここでは、地域と道路網とのイメージからみた関連性をみるために、2.2節の地域イメージ色彩と既存研究³⁾の道路網イメージ色彩を同じ図-4に示した。この図より以下のことが考察できる。

- 路線の色彩には、地域に見られない「赤路線」が存在する。これは路線相互の関係は地域の関係よりもばらつきが大きいからである。
- 「地域6」の色彩は灰で、灰イメージの路線が数多く通り、色彩イメージが同じである。これより地域に対する印象と路線に対する印象が似ていることがわかる。
- 青路線（⑨、⑩、⑪）は、いずれも都会的イメージの「地域1」と田舎的イメージの「地域2・地域4」を通過している。「青」は実体を遠くに見せる特殊な

作用をもつ色である⁴⁾。よって離れた地域を精神的に結び付ける路線の色は青であると推測される。

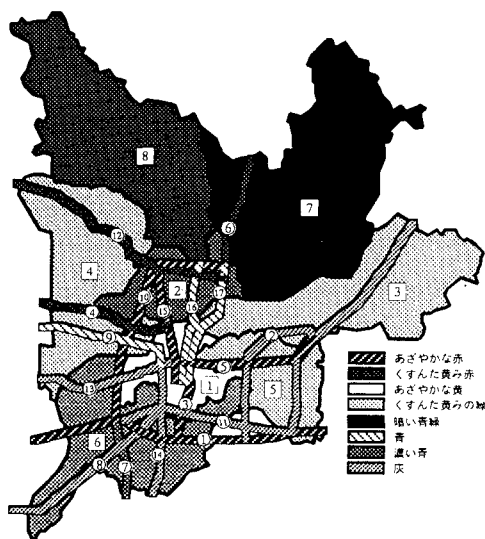


図-4 色彩イメージによる道路網と地域

5. おわりに

本研究では、既存研究を用いて地域性を考慮した都市内道路網のイメージ評価方法を検討した。道路網などの土木構造物は巨大な都市の骨格として存在し、その意味で都市の「精神的構造物」でもある。ここでは、地域イメージと路線イメージの関係を調べることで、道路網計画が形成する精神的な都市環境を知るための方法の端緒が示された。

今後の課題として、①現実的な道路網計画との関連性についての考察、②地域性を考慮した路線の最適な色彩組み合わせの検討が挙げられる。

参考文献

- 1) 秋山孝正・佐藤亮・田名部淳：ファジィ多変量解を用いた都市高速道路イメージの分析，第8回ファジィシステムシンポジウム講演論文集，pp. 365～368，1992
- 2) 秋山孝正：色彩イメージによる都市高速道路網の評価について，土木計画学研究・講演集 No. 17，pp. 629～632，1995
- 3) 片桐雅之・秋山孝正：色彩評価に基づく都市内幹線道路網のイメージ分析，土木学会第50回年次学術講演会講演概要集，pp. 912～913，1995
- 4) 岩井寛：色と形の深層心理，pp. 75～84，NHKブックス，1991